

(様式 1)

県政調査計画書

令和8年9月2日

神奈川県議会議員 杉本 透 殿

会派名 自由民主党神奈川県議会議員団

団長名 藤代 ゆうや

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 持田 文男 (団 員) 小島 健一 梅沢 裕之 嶋村 ただし あらい 絹世 新堀 史明
2 調査目的	防災道の駅による防災体制の充実を進めている「うきは市役所」、日産自動車追浜工場からの生産移管が進められている「日産自動車九州株式会社」、就労支援の場として障がい者によるデジタル化事業を実施する「インクルとばた」、福岡市民ホール及び周辺公園の再整備事業を実施する「福岡市役所」を訪問し、その特色ある取組について調査することにより、本県の今後の施策の参考とする。
3 調査期間	令和8年11月18日 ～ 令和8年11月20日
4 調査地	福岡県
5 調査項目	(1) うきは市役所 道の駅「うきは」は全国の道の駅の中から選定された広域的な防災拠点「防災道の駅」の一つで、自衛隊や警察、消防の活動拠点や緊急物資の集積、輸送基地として重要な役割を担っている。 こうした取組を調査することにより、本県における防災施策の参考とする。 (2) 日産自動車九州株式会社 日産自動車九州株式会社では、追浜工場の車両生産終了に伴い、同工場の車両生産が移管、統合される予定となっている。 生産移管に伴う生産体制の再編状況や従業員の受入状況等について調査することにより、本県の産業振興施策及び雇用施策の参考とする。



	(3) インクルとばた インクルとばたは、福岡県が「就労支援の場」として開設した、国会図書館の蔵書などのデジタル化事業に取り組む拠点であり、障がい者の可能性を広げる事業として注目を集めている。 こうした取組を調査することにより、本県の障害福祉施策の参考とする。 (4) 福岡市役所 福岡市は、老朽化した福岡市民会館の後継施設として福岡市民ホールを建設した。また、隣接する須崎公園と一体的かつ段階的な整備を行うことで、両施設の魅力が相まったみどりあふれる文化芸術空間の創出を目指している。 こうした取組を調査することにより、神奈川県立県民ホールの再整備施策の参考とする。
6 経費の概算額	1人当たりの議員旅費 … 271,673円 内訳 交 通 費 … 181,373円 添 乗 料 … 16,500円 宿 泊 費 … 72,800円 視 察 料 … 1,000円

* 日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関等	調査箇所及び調査内容
1	11/18 (水)	福岡県	午前 午後	飛行機 バス等	移動(羽田空港→福岡空港) ●視察1「うきは市役所」 ・防災道の駅「うきは」について ＜福岡市内泊＞
2	11/19 (木)	福岡県	午前 午後	バス等 バス等	●視察2「日産自動車九州株式会社」 ・追浜工場からの生産移管について ●視察3「インクルとばた」 ・障がい者の就労支援の場におけるデジタル化事業について ＜福岡市内泊＞
3	11/20 (金)	福岡県	午前 午後	バス等 飛行機	●視察4「福岡市役所」 ・福岡市民ホールの整備及び周辺公園再整備事業について 移動(福岡空港→羽田空港)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 持田 文男
	(団 員) 小島 健一 梅沢 裕之 嶋村 ただし あらい 絹世 新堀 史明

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調 査 経 費	議員 1 人当たり 100 万円以内	議員 1 人当たりの経費は 271,673 円であり、基準を満たしている。	適
② 調 査 箇 所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 か所以上調査実施 移動日は 1 か所以上調査実施	2 泊 3 日の行程の中で、移動日は 1 箇所以上、それ以外の日は午前及び午後それぞれ 1 箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	(1) うきは市役所 「道の駅うきは」は全国の道の駅の中から選定された広域的な防災拠点「防災道の駅」の一つで、自衛隊や警察、消防の活動拠点や緊急物資の集積、輸送基地として重要な役割を担っている。本県では、防災・減災対策を推進しており、当該取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。 (2) 日産自動車九州株式会社 日産自動車九州株式会社では、追浜工場の車両生産終了に伴い、同工場の車両生産が移管、統合される予定となっている。本県では、日産自動車株式会社追浜工場の車両生産終了に係る支援対策を進めており、当該取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。

	(3) インクルとばた インクルとばたは、福岡県が「就労支援の場」として開設した、国会図書館の蔵書などのデジタル化事業に取り組む拠点であり、障がい者の可能性を広げる事業として注目を集めている。本県では、障がい者の就労支援に取り組んでおり、当該取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。 (4) 福岡市役所 福岡市は、老朽化した福岡市民会館の後継施設として福岡市民ホールを建設した。また、隣接する須崎公園と一体的かつ段階的な整備を行うことで、両施設の魅力が相まったみどりあふれる文化芸術空間の創出を目指している。本県では、神奈川県立県民ホールの建替えに向けた検討が進められており、当該取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。
② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	今回の調査対象項目は、いずれも本県の課題と共通するものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは、時宜を得たものである。
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	各分野において、今後の本県における施策に活用していくためには、現地に赴き、担当職員等から具体的かつ詳細に調査及び聴取しなければ調査目的を達成することができないものである。
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	調査箇所、行程、経費等は、県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当なものである。